



返々、用の事

（硯）

可承候、すすり

の事、一日申

こされ候、そろへ申候、

もたせ候て、まいらせ候、

べく候、かしく、

ふみ大慶々々、

貴殿事きけん

よくあそひ候よし、

おはより申こされ

うれしさ山々

にて候、とせんに

候やとこれのみ

あんしくらし申候、

ここもとすいふん

いそきひまを

あけ候て、まいり、

つもることかたり

可申候、いろいろ

みやけこしらへ

もたせまいり候はん

まま、こころや

すく候べく候、又、

（芝子）（政俊）（政則）

およめ・兵介・少五郎

へも、ふみつかはし

度候へとも、此もの

いそき候間、事

つて申候よし

可被申候、さてく、

はやくあいたく候、

く、貴殿も

そのふんたるべく候、

めてたく、かしく、

（忠政）

十月十一日 たたまさ

(政勝)

まん千世殿 まいる

【翻刻作成】豊岡市立歴史博物館